

美しく輝く 里山共生都市

～みんなが“好き”と実感できる“しょうばら”～

第2期庄原市長期総合計画

概要版



平成28年3月
庄原市

はじめに

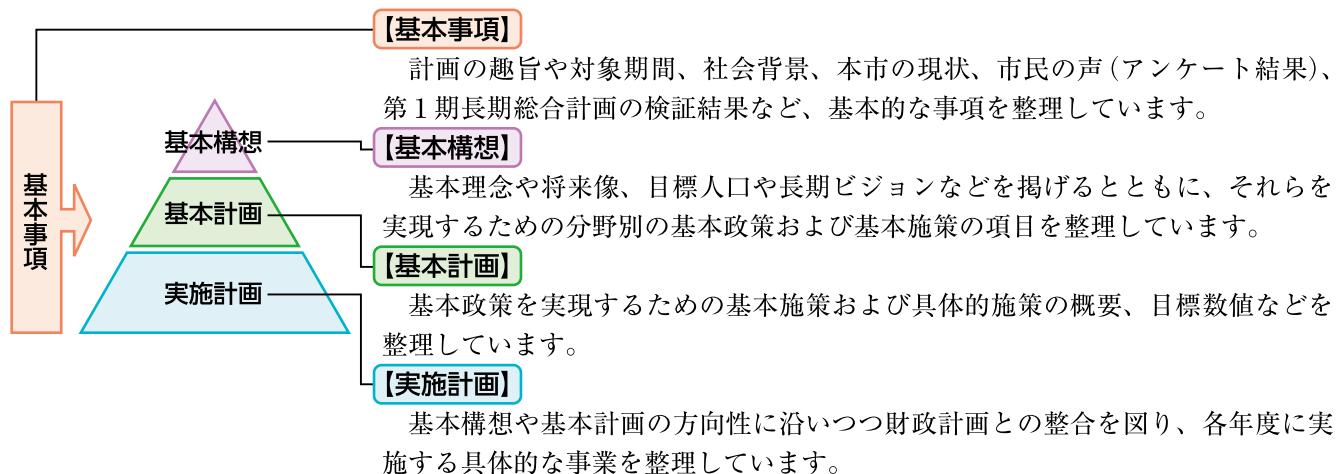
計画策定の趣旨

庄原市は、平成17(2005)年3月31日に1市6町の合併により誕生し、以来、10年が経過しました。この間、第1期庄原市長期総合計画の策定や、まちづくりにおける最高規範としての庄原市まちづくり基本条例を施行し、市民と行政の協働による“まちづくり”に取り組んでいます。

今を生きる私たちには、先人から引き継いだ“ふるさと”を未来に継承するとともに、この地が「生まれた人が誇りを持ち」、「暮らす人がしあわせを感じ」、「訪れる人が喜びを享受できる」“ふるさと”であり続けられるよう努力することが求められています。

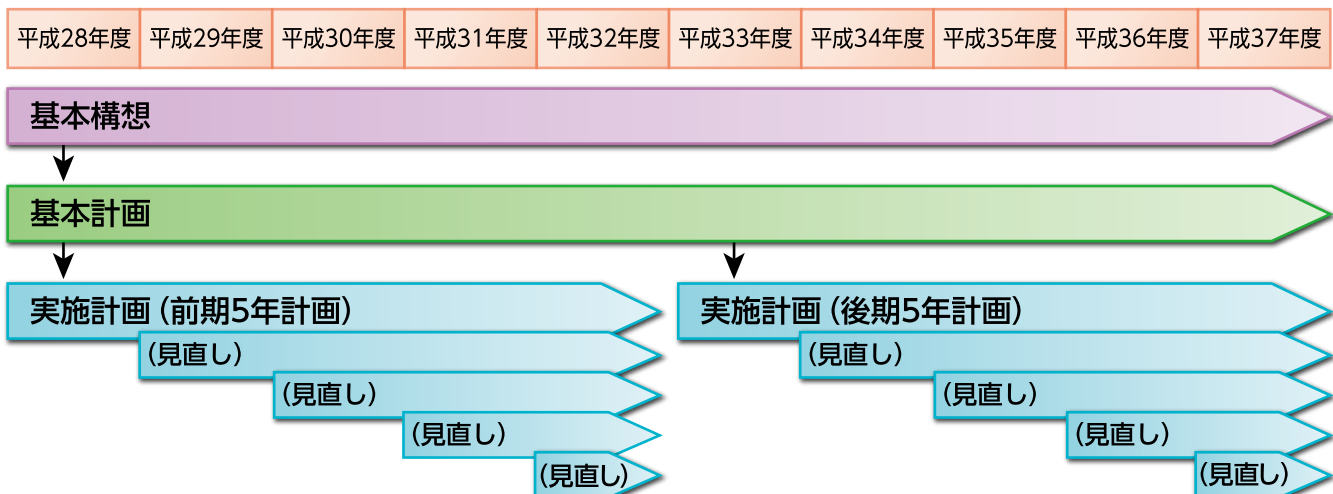
第2期庄原市長期総合計画は、こうした背景を踏まえ、市民と行政が夢や課題を共有しながら、第2期(10年後)の庄原市を創造するための指針として策定したものです。

計画の構成



計画の対象期間

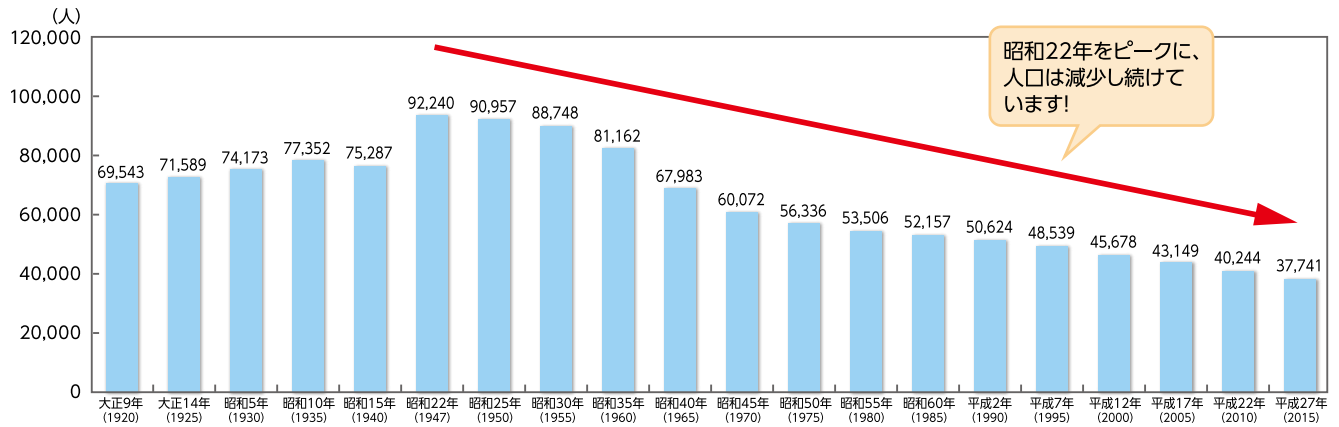
基本構想・基本計画は、平成28(2016)年度から平成37(2025)年度までの10年間を対象期間とし、実施計画は、前期5年・後期5年とし、毎年度見直しを行います。



本市の最重要課題は人口減少

これまでの推移からも明らかなように、人口の減少は、さらなる人口減少を招く要因であり、地域全体を負のスパイラル（悪循環の連鎖）に陥らせることから、人口減少を本市の最も重要な課題と捉え、その抑制に向けた総合的な取り組みを継続・強化する必要があります。

◆庄原市の人口推移(大正9年～平成27年)



資料：国勢調査 ※平成27年は住民基本台帳10月1日現在

人口減少による影響

人口減少により、次のような影響が懸念されます。

(1) 行政効率の低下

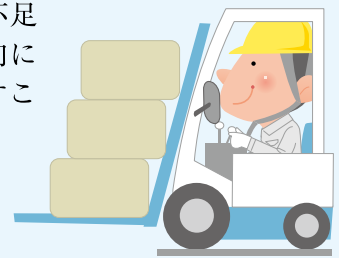
納税義務者の減少が、市税の減収につながるほか、国勢調査人口に基づいて算定される地方交付税も減額となります。

一方、人口が減少しても、市道の維持管理や施設管理、行政サービスなどは一定の水準を維持する必要があることから、行政効率の低下が想定されます。



(2) 地域産業の衰退

消費量の減少による商店の廃業、後継者不足による基幹産業（農林業）の衰退、さらには特定の業種における労働力の不足など、地域産業の動向にも大きな影響を及ぼすこととなります。



(3) 地域活力の減退

耕作放棄地や空き家の増加、保育所・学校の統廃合、公共交通機関の機能縮小など、生活環境が変化するほか、地域での互助（支え合い）機能の崩壊が、残された住民に不安感を与え、集落の形成、地域の維持・活力にも悪影響を及ぼします。



(4) 生活不安の増大

現在でも、同居家族における助け合いは当然の行為として認識されていますが、子どもや孫が転出し、帰郷が望めない場合などには、十分な家族扶助が期待できないことから、日常生活や将来に向けて不安を招く要因となります。

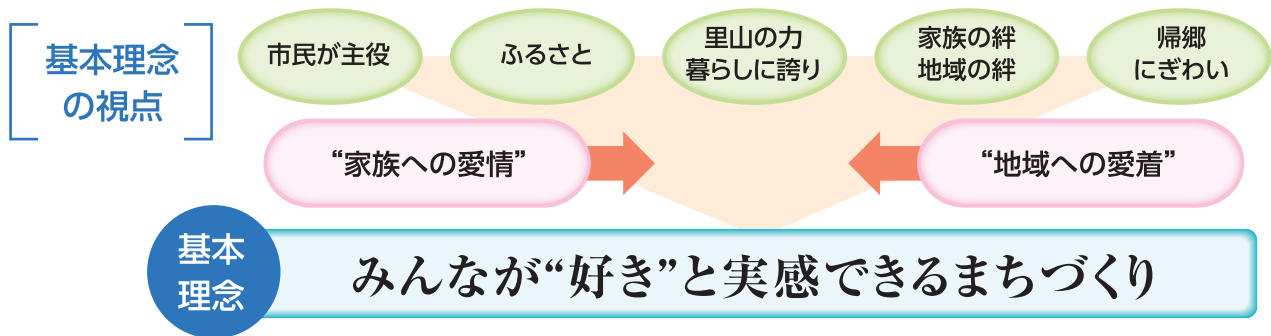


基本構想

基本理念

基本理念は、未来の庄原市を実現・創造するにあたっての「最も大切にすべき基本的な考え」を意味しています。

多様な視点から導かれる普遍的なあるべきまちの姿は“家族への愛情”と“地域への愛着”に支えられたものであると考え、次のように設定します。



将来像

将来像は、市民と行政が夢や課題を共有しながら創造する未来（10年後）の姿であり、この計画において実現すべき目標となります。

将来像は、基本理念と同様に、多様な思いや願いを込め、次のように設定します。

美しく輝く 里山共生都市 ～みんなが“好き”と実感できる“しょうばら”～

“美しく輝く”

地域づくりや暮らしをはじめ、各分野において、美しく輝こうとする力強さを表現しています。

“里山”

自然環境や多様な資源、さらには磨き・培われてきた暮らしを表現しています。

“共生”

豊かな自然や地域の魅力、先人が築いた里山の暮らしに改めて目を向け、ふるさとを守りながら発展する、「里山と共に生きる」という意思を表現しています。

“都市”

一定の利便性や快適性が確保された未来都市を表現しています。

サブフレーズは、基本理念を踏まえ、将来像をわかりやすく表現しています。

目標人口

本市の人口は減少し続けており、平成27(2015)年10月1日現在の住民基本台帳人口は、37,741人となっています。今後もまた減少を続け、10年後の平成37(2025)年には、31,725人まで減少すると推計されています。こうした状況を踏まえ、目標人口は、望む数値や望ましい数値ではなく、市民と行政が意識を共有しながら達成しようとする数値と捉え、次のように設定します。

《目標人口》 32,700人以上(平成37年国勢調査人口)

長期ビジョン

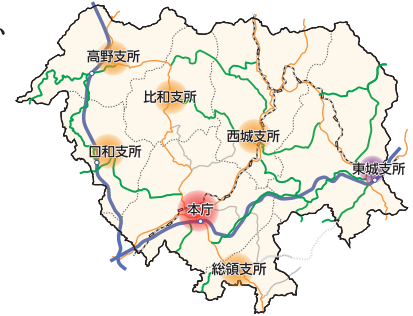
長期ビジョンは、将来像を実現するための長期的な構想・方針となります。
この計画では、4つの長期ビジョンを掲げています。

1 機能を有する拠点区域の形成

人口構成をはじめ、交通、医療、教育文化、事業所、官公署など、各分野の施設や都市機能の配置状況から、庄原市街地を《都市機能の拠点区域》に、東城市街地を《都市機能の準拠点区域》に、他の地域の支所周辺を《地域拠点区域》に設定します。

加えて、他の集落形成区域を、農山村風景と生活基盤が融合した《里山居住区域》に設定し、地域特性に即した機能分担とネットワークの確立に取り組みます。

《市街地および支所周辺の機能概念図》



2 一体感の醸成と一体的な発展

極めて広大な区域面積を本市の優位性と捉え、一体感の醸成と一体的な発展という基本姿勢を継承するとともに、引き続き、各地域が有する資源や魅力を生かしたまちづくりに取り組みます。

とりわけ、地域づくりに関しては、住民自治組織による活動が活発化している背景を踏まえ、自治振興区の区域を基本とした取り組みを推進します。

《自治振興区の区域および自治振興センターの位置》

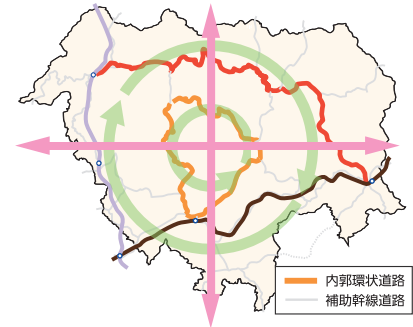


3 効果的な活用で輝く広大な区域

本市では、南部の横軸として中国縦貫自動車道が、西部の縦軸として中国横断自動車道尾道松江線(中国やまなみ街道)が整備されており、既存の国道・県道・市道を北部の横軸および東部の縦軸に位置づけることで、市内を周回する大規模な外郭環状道路が形成されることとなります。

加えて、地域と地域を結ぶ幹線を内郭環状道路・補助幹線とすることで、重層的な道路体系へと展開し、広大な区域の効果的な活用を進めます。

《域内環状道路の概念図》



4 家族愛・地域愛・里山愛に支えられた未来

この計画では、人口減少を最重要課題としており、オール庄原の意識をもって、この課題に立ち向かわなければなりません。

子どもたちに、大切にすべき意識として、“家族への愛情”と“地域への愛着”を伝えるとともに、本市で暮らそうとする皆さんに、里山の魅力から生まれる新たな“里山愛”を感じてもらうことで、3つの愛に支えられた定住を推進します。



基本構想

将来像

美しく輝く里山共生都市

（みんなが『好き』と実感できる『しょうばら』）

基本理念

みんなが『好き』と実感できるまちづくり

長期ビジョン

機能を有する
拠点区域の形成

一体感の醸成と
一体的な発展

効果的な活用で
輝く広大な区域

家族愛・地域愛・
里山愛に
支えられた未来

基本政策

“絆”が
実感できるまち
【自治・協働・定住】

“にぎわい”が
実感できるまち
【産業・交流】

“快適な暮らし”が
実感できるまち
【環境・基盤・交通・情報】

“あんしん”が
実感できるまち
【保健・福祉・医療・介護】

“学びと誇り”が
実感できるまち
【教育・文化】

基本施策

- (1) 自治・協働の推進
- (2) 人権尊重社会の実現
- (3) 男女共同参画社会の実現
- (4) 定住の促進
- (5) 効果的・効率的な行財政運営

- (1) 農林水産業の振興
- (2) 商工業の振興
- (3) 観光交流の推進
- (4) 多文化交流の促進

- (1) 生活基盤の整備
- (2) 生活環境の向上
- (3) 生活の安全確保
- (4) 環境衛生の充実

- (1) 子育て支援
- (2) 高齢者の自立支援
- (3) 障害者の自立支援
- (4) 地域福祉の向上
- (5) 健康づくりの推進
- (6) 医療の充実
- (7) 社会保障制度の適正運営

- (1) 学校教育の充実
- (2) 生涯学習・社会教育の充実
- (3) 芸術・文化の推進
- (4) スポーツの推進
- (5) 家庭・地域の教育力の向上

基本計画

1 “絆”が実感できるまち (自治・協働・定住)

(1) 自治・協働の推進

市民の皆さんと意識や情報を共有しながら、参画と協働によるまちづくりを推進します。

主な取り組み

- ◆自治振興区の活動および運営支援
- ◆地域リーダーの育成支援
- ◆広報・広聴機会の提供

目標指標	現状(H26)	目標(H36)
まちづくり団体登録数	15団体	▶ 25団体以上
まちづくり・プランナー・モニター登録者数	75人	▶ 280人以上

Pickup

◆自治振興区活動促進補助事業

自治振興区の主体的な活動を支援し、地域課題の解決や地域の活性化に取り組みます。



(2) 人権尊重社会の実現

自己啓発と人権意識の高揚に努め、差別と人権侵害のない地域社会の実現に取り組みます。

目標指標	現状(H26)	目標(H36)
人権啓発事業(講演会等)への市民参加率	-	▶ 70.0%以上

主な取り組み

- ◆啓発事業(学習会・講演会)の実施
- ◆相談体制の充実

(3) 男女共同参画社会の実現

誰もが自覚を持って社会に参画し、自己実現できる男女共同参画社会の形成に取り組みます。

目標指標	現状(H26)	目標(H36)
審議会等への女性委員登用率	28.6% (H27)	▶ 30.0%以上

主な取り組み

- ◆啓発事業(講座・講演会)の実施
- ◆DV対策の強化

など

(4) 定住の促進

帰郷・転入の希望者を対象に、ニーズに応じた支援を積極的に展開します。

主な取り組み

- ◆情報発信・相談対応の充実
- ◆転入定住者の住宅確保・起業支援
- ◆若者の就職支援
- ◆結婚支援

目標指標	現状(H26)	目標(H36)
空家バンク成約件数	3件	▶ 55件以上
若者定住率	57.3% (H22)	▶ 67.0%以上

Pickup

◆空家バンク事業

空き家を住宅として活用することで、本市への転入を促進します。



など

(5) 効果的・効率的な行財政運営

効果的・効率的な行財政運営を行いつつ、市民サービスの維持・向上に努めます。

目標指標	現状(H26)	目標(H36)
総職員数	535人 (H27)	▶ 513人以下
実質公債費比率	18.4%	▶ 17.0%以下

主な取り組み

- ◆行政評価の実施
- ◆効率的な組織機構の構築
- ◆公有財産の最適管理の推進
- ◆人材育成の推進

など

基本計画

2 “にぎわい”が実感できるまち (産業・交流)

(1) 農林水産業の振興

多様な担い手の確保に努めるとともに、本市の生産環境を活かした農林水産業の振興に取り組みます。

主な取り組み

- ◆担い手の確保・育成
- ◆農畜産物のブランド化の推進
- ◆地域木材の活用促進
- ◆有害鳥獣による被害防止

目標指標	現状 (H26)	目標 (H36)
新規就農者数	43人	83人以上
比婆牛認証頭数	49頭	380頭以上

など

Pickup

◆比婆牛ブランド化推進事業

「比婆牛」のブランド化を進め、和牛農家の所得向上と飼養頭数の増加に取り組みます。



(2) 商工業の振興

市街地のにぎわい創出と地域商業の再生に取り組むとともに、企業誘致を推進し、雇用の拡大と地域経済の維持・発展に努めます。

目標指標	現状 (H26)	目標 (H36)
新規創業者数	5人	20人以上
庄原工業団地の分譲率	76.6%	100%

など

主な取り組み

- ◆地域市街地のにぎわい再生
- ◆中小企業等の安定経営支援
- ◆企業誘致の推進
- ◆創業希望者への多面的支援
- ◆雇用の確保・拡大支援

(3) 観光交流の推進

本市の魅力積極的に発信し、新たな観光客の誘致と観光交流による地域の持続的な発展に取り組みます。

主な取り組み

- ◆山遊びの充実
- ◆花と緑のまちづくりの推進
- ◆体験型教育旅行・外国人旅行者の誘致
- ◆観光プロモーションの強化
- ◆広域周遊観光の促進

目標指標	現状 (H26)	目標 (H36)
観光消費額	4,209,683千円 (H25)	4,504,000千円以上
来訪者の満足度	53.0%	60.0%以上

など

Pickup

◆花と緑のまちづくり推進事業

市民参加による「花と緑のまちづくり」を進め、観光交流人口の増加、地域の活性化に取り組みます。



(4) 多文化交流の促進

国際化に対応できる人材育成・相互理解のための多文化交流を促進します。

目標指標	現状 (H26)	目標 (H36)
青少年海外研修事業募集人員に対する申込率	80.0%	80.0%以上

主な取り組み

- ◆交流機会・情報の提供
- ◆外国籍市民の相談支援
- ◆友好都市交流の推進

基本計画

3 “快適な暮らし”が実感できるまち（環境・基盤・交通・情報）

（1）生活基盤の整備

選択と集中を基本とし、道路・情報通信・上下水道など、生活基盤の整備・確立に取り組みます。

主な取り組み

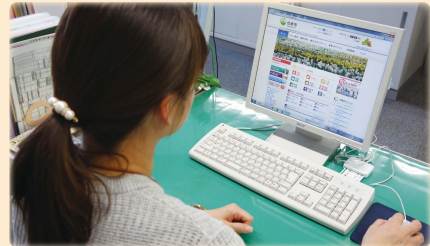
- ◆市道等の整備
- ◆情報通信基盤の整備
- ◆上水道普及地域の拡大
- ◆公共下水道の長寿命化
- ◆地籍調査の推進

目標指標	現状 (H26)	目標 (H36)
市道改良率	69.2%	72.3%以上
污水处理普及率	68.2%	71.2%以上

Pickup

◆超高速情報通信網整備事業

市内全域に超高速情報通信網を整備し、情報サービスの提供や定住促進、企業誘致への展開を図ります。



（2）生活環境の向上

生活交通や住宅の確保に努め、生活環境・生活空間の充実を図ります。

主な取り組み

- ◆生活交通の確保・充実
- ◆市営住宅の整備促進
- ◆空き家の適切管理
- ◆公共施設・空き店舗の活用促進
- ◆公園・緑地の整備

目標指標	現状 (H26)	目標 (H36)
交通手段がないため外出できなかったことがよくある市民の割合	3.4% (H27)	3.0%以下
市営住宅における狭小住宅率	7.2%	5.9%以下

Pickup

◆生活交通バス等運行補助事業

日常生活に不可欠な路線バス・生活バスなどの生活交通を確保します。



（3）生活の安全確保

防災体制・危機管理体制の強化、犯罪や交通事故の防止に取り組み、身近な生活の安全確保に努めます。

目標指標	現状 (H26)	目標 (H36)
自主防災組織の組織率	47.8%	80.0%以上
交通事故発生率	2.2%	2.2%以下

主な取り組み

- ◆防災・危機管理体制の強化
- ◆自主防災組織の結成・活動支援
- ◆消防団員の確保・消防施設の整備
- ◆生活安全相談の機会充実
- ◆交通安全施設の整備促進

（4）環境衛生の充実

自然環境を継承する意識の喚起・醸成と、再生可能エネルギーの有効活用などに取り組みます。

目標指標	現状 (H26)	目標 (H36)
ごみ総排出量	10,361 t (H24)	8,785 t 以下
リサイクル率	26.3%	28.2%以上

主な取り組み

- ◆ごみ焼却施設の整備
- ◆廃棄物の抑制・再利用・再生利用の推進
- ◆不法投棄対策の強化
- ◆温室効果ガスの排出抑制
- ◆多様な資源の活用促進
- ◆斎場の再編整備

基本計画

4 “あんしん”が実感できるまち（保健・福祉・医療・介護）

（1）子育て支援

施設サービスの充実や経済的負担の軽減など、総合的な子育て支援を進めます。

主な取り組み

- ◆経済的負担の軽減
- ◆子育て支援サービスの充実
- ◆施設サービスの充実
- ◆ワーク・ライフ・バランスの理解促進
- ◆児童虐待防止対策の充実
- ◆障害児への支援

目標指標	現状(H26)	目標(H36)
保育所入所希望者の入所率(年度末)	100%	100%
延長保育(19:30まで)の実施率	41.0%	100%

など

Pickup

◆子育て支援センター事業

子育て家庭が交流できる場や機会を提供し、子育ての不安や負担感の軽減に努めます。



（2）高齢者の自立支援

住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、保健・福祉・医療・介護の連携による総合的な高齢者支援に取り組みます。

主な取り組み

- ◆地域包括ケアシステムの充実
- ◆介護予防事業の推進
- ◆活躍機会の創出
- ◆高齢者向けコンパクトシティの環境整備
- ◆介護サービスの適切な提供、人材の確保支援
- ◆見守り活動、助け合い活動の促進

目標指標	現状(H26)	目標(H36)
シルバーリハビリ体操参加率	-	57.0%以上
自治会内に集いの場(サロン・デイホーム)のある割合	71.1%	76.0%以上

など

Pickup

◆高齢者等生活支援事業

ひとり暮らし高齢者の巡回相談など、高齢者が地域で安心して暮らし続けられる支援を行います。



（5）健康づくりの推進

疾病の予防と早期発見・早期治療を促進し、心と体の健康維持に努めます。

主な取り組み

- ◆食育の理解促進、地産地消の推進
- ◆歯科保健の推進
- ◆生活習慣病の予防啓発
- ◆運動・身体活動の習慣化促進
- ◆精神疾患への適切対応・支援
- ◆感染症予防の推進、対応体制の強化

（3）障害者の自立支援

障害者や障害者福祉に対する市民理解を促進するとともに、社会活動や日常生活、就労を支援します。

主な取り組み

- ◆外出・移動への支援
- ◆就労の促進
- ◆交流活動の促進
- ◆相談支援体制の強化
- ◆各種支援サービスの適切・適正な提供

（6）医療の充実

医療機関の維持や人材の確保・育成に取り組み、医療環境の維持・充実に努めます。

主な取り組み

- ◆医療体制の確保、関連機器の導入支援
- ◆医師・看護師の確保

（4）地域福祉の向上

住民同士で支え合い、安心して暮らし続けることのできる地域づくりに取り組みます。

主な取り組み

- ◆地域福祉活動への参加促進
- ◆災害発生時の避難支援

（7）社会保障制度の適正運営

誰もが安心して暮らすことができるよう、社会保障制度の安定的・持続的な運営に努めます。

主な取り組み

- ◆生活困窮者への多面的支援
- ◆国民健康保険・介護保険制度の持続的運営
- ◆保険給付の適正化
- ◆国民年金への加入・納付の促進

基本計画

5 “学びと誇り”が実感できるまち(教育・文化)

(1) 学校教育の充実

児童生徒が基礎基本の知識・技能を習得し、的確に問題を解決できる資質・能力を育成します。

主な取り組み

- ◆外国語教育の推進
- ◆特別支援教育の充実
- ◆道徳教育の充実
- ◆学校施設・設備の充実
- ◆情報教育の推進
- ◆就学・通学への支援

目標指標	現状(H26)	目標(H36)
全国学力・学習状況調査	小学校 国語A +2.4 中学校 国語A +3.9 小学校 国語B +4.0 中学校 国語B +4.0 小学校 算数A +4.2 中学校 数学A +3.8 小学校 算数B +0.2 中学校 数学B +4.4	各教科 +5ポイント 以上

など

Pickup

◆外国語教育推進事業

外国語指導助手の導入など、外国語教育の充実を図り、国際化に対応できる教育を進めます。



(2) 生涯学習・社会教育の充実

年代や性別を問わない多様な事業を展開するとともに、習得した知識・技術が地域へ還元される仕組みを構築します。

目標指標	現状(H26)	目標(H36)
生涯学習事業への市民参加率	12.3%	15.0%以上

など

主な取り組み

- ◆各種講座等の充実
- ◆人権教育の推進
- ◆放課後子ども教室の充実
- ◆地域の課題解決力の醸成
- ◆読書機会の提供
- ◆図書館機能の充実

(3) 芸術・文化の推進

市民の文化意識高揚を図り、芸術・文化活動を推進します。

目標指標	現状(H26)	目標(H36)
文化協会加盟団体等の主催事業への市民参加率	9.4%	12.0%以上

など

主な取り組み

- ◆鑑賞機会の提供
- ◆伝統文化・地域文化の振興
- ◆文化施設の活用促進
- ◆文化財の保護・管理・活用促進
- ◆博物館の機能充実

(4) スポーツの推進

市民個々の志向に応じたスポーツ活動の奨励と、家庭や学校、地域での活動を促進し、健康づくりを推進します。

主な取り組み

- ◆地域スポーツの推進
- ◆ジュニアスポーツの活動支援
- ◆障害者スポーツへの支援
- ◆体育施設の利用促進

目標指標	現状(H26)	目標(H36)
スポーツ教室への参加率	6.8%	10.0%以上
小学生のスポーツ少年団加入率	34.7%	50.0%以上

など

Pickup

◆レベルアップスポーツ教室事業

スポーツ活動へ参加する機会を提供するとともに、競技力の向上に取り組みます。



(5) 家庭・地域の教育力の向上

家庭・地域・学校などが一体となった子育てを進めます。

目標指標	現状(H26)	目標(H36)
地域の教育力向上をめざした事業に取り組んだ自治振興区の割合	50.0%	70.0%以上

主な取り組み

- ◆地域に貢献できる人材の育成
- ◆地域理解を深める教育活動の推進
- ◆家庭教育に関する自己啓発の促進
- ◆連携構築による地域教育力の向上

庄原市市民憲章

わたしたちの庄原市は、比婆の山々に囲まれた雄大な自然と、先人の知恵と努力によって築き上げられた歴史と文化をもつまちです。こうしたふるさとを次の世代に引き継ぎ、元気で住みよい地域づくりをすすめるために、この市民憲章を定めます。

1 健康なからだと豊かな^{はぐく}ころを育みます。

1 ふるさとを愛しさとやまの自然を守ります。

1 ふるさとの歴史と文化を学び伝えていきます。

1 いのちときずなを大切に笑顔の輪を広げます。

1 働くことを喜びとし活力あるまちをつくります。

市の花：サクラ



市内の随所に植えられるなど、古くから多くの市民になじみ親しまれています。これからも市民みんなで大切に育てていきたいという気持ちを込めています。

市の木：ブナ



市内を流れる西城川の水源でもある中国山地に、豊かなブナの純林を形成し、全国有数の天然記念物として大切にされています。本市の雄大で懐深い自然の象徴としています。